株式会社ラック

2023年3月期 通期決算説明資料

2023年5月12日

目次

2023年３月期 通期決算概要

通期決算のポイント

セキュリティ事業はコンサルティングと診断、SI事業は開発サービスとソリューションサービスが伸長し増収増益

期初予想には届かなかったものの「クラウド」「内部不正」「ランサムウェア」に対する
セキュリティ対策サービスへの取り組みを着実に推進

一方で、3Qに特別損失を計上するとともに通期業績予想を下方修正

社内基幹システム開発の中止に伴う特別損失の計上

（詳細は次のスライドに記載）

4Qの需要が見込みより高く、修正予想からは売上高、利益とも上振れして着地

期末配当は1株当たり14円の予定から変更なし

特別損失の計上について

2018年より社内新基幹システムの企画・開発を推進

（当初計画 2020年10月稼働）

追加開発等で更なる延伸

テレワーク等による働き方の多様化

クラウドを活用したデジタル化の進展

社会・経済活動が急速に変容しており環境変化への柔軟な適応が必須

社内基幹システム

開発を中止し、新システムとして再構築することを判断

（2023年2月13日に「特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」として開示）

社内基幹システム開発の中止に伴う特別損失 18億5,400万円を計上

連結決算ハイライト（前期比）

セキュリティ事業、SI事業の伸長により増収・増益

社内基幹システム開発の中止に伴う特別損失の計上もあり純利益は大幅減益

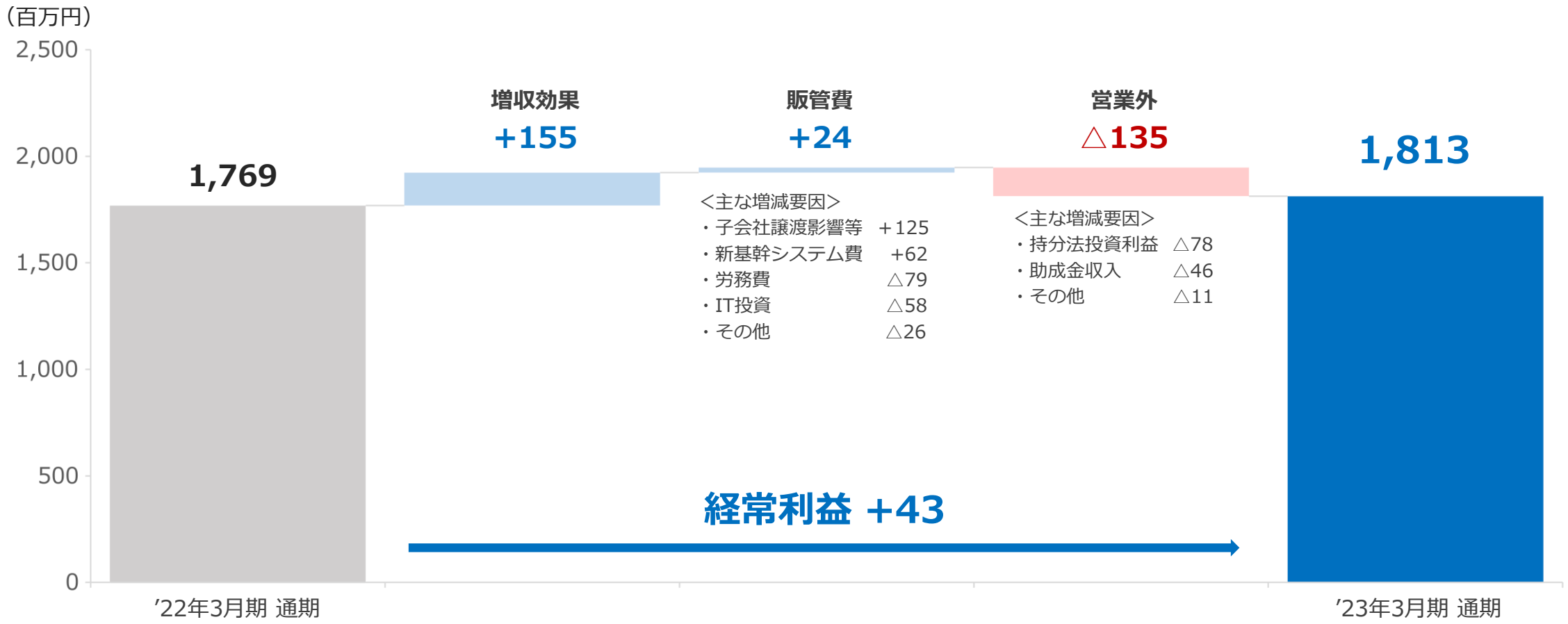
（百万円）

科目	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	**42,660**	**44,018**	**+1,358**	**+3.2**
営業利益	**1,595**	**1,775**	**+179**	**+11.3**
営業利益率%	*3.7*	*4.0*	*+0.3p*	-
経常利益	**1,769**	**1,813**	**+43**	**+2.5**
経常利益率%	*4.1*	*4.1*	*△0.0p*	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,401**	**△147**	**△1,548**	**-**
自己資本当期純利益率（ROE）%	**10.2**	**△1.0**	***△11.2p***	**-**

（注）社内基幹システム開発に伴う特別損失として1,854百万円を計上しています。

経常利益 増減要因分析（前期比）

体制強化のためのIT投資や労務費の増加に加え、持分法投資利益の減少などがあったものの増収効果や子会社譲渡影響などにより経常増益



（注）1. 子会社譲渡影響等は、前期子会社であったアイ・ネット・リリー・コーポレーションの事業譲渡、ジャパンカレント非連結化によるものです。
2. 持分法適用関連会社として、KDDIデジタルセキュリティ㈱、ニューリジェンセキュリティ㈱の２社があります。

セグメント別業績（前期比）

セキュリティ事業、SI事業ともに増収・増益
全社共通費用は体制強化等により増加

（百万円）

売上高	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	19,380	19,521	+141	+0.7
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	23,279	24,497	+1,217	+5.2
合計	42,660	44,018	+1,358	+3.2

セグメント利益	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,319	2,366	+47	+2.1
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	2,985	3,429	+443	+14.9
合計	5,304	5,795	+491	+9.3
全社共通費用	△3,709	△4,020	△311	-

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および一般管理費を含めた利益です。

コンサルティング、診断などが伸長し増収・増益

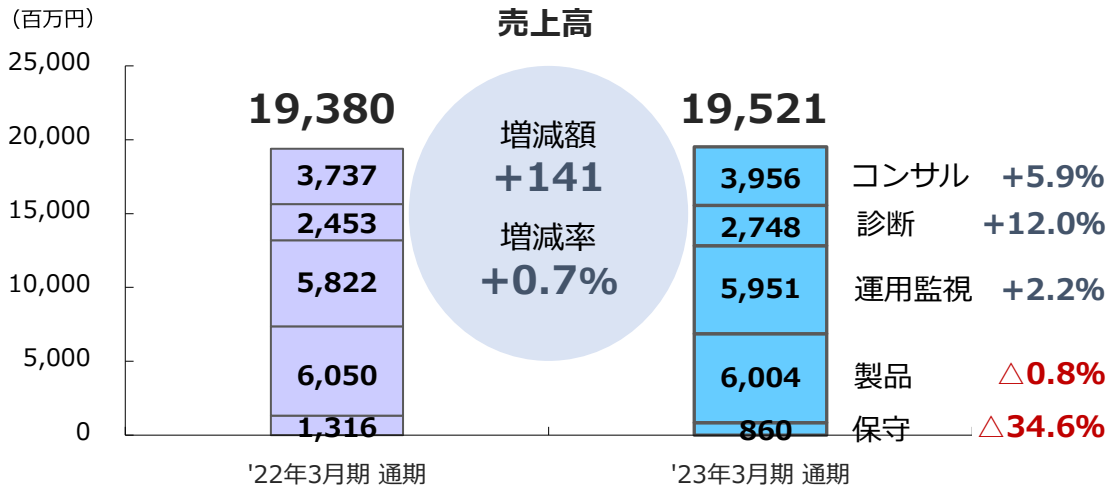
セキュリティコンサルティングサービス
企業へのサイバー脅威が衰えを見せることなく猛威を振るうなか、コンサルティング案件が拡大するとともに、エンドポイント対策支援サービスや教育・訓練サービスが伸長

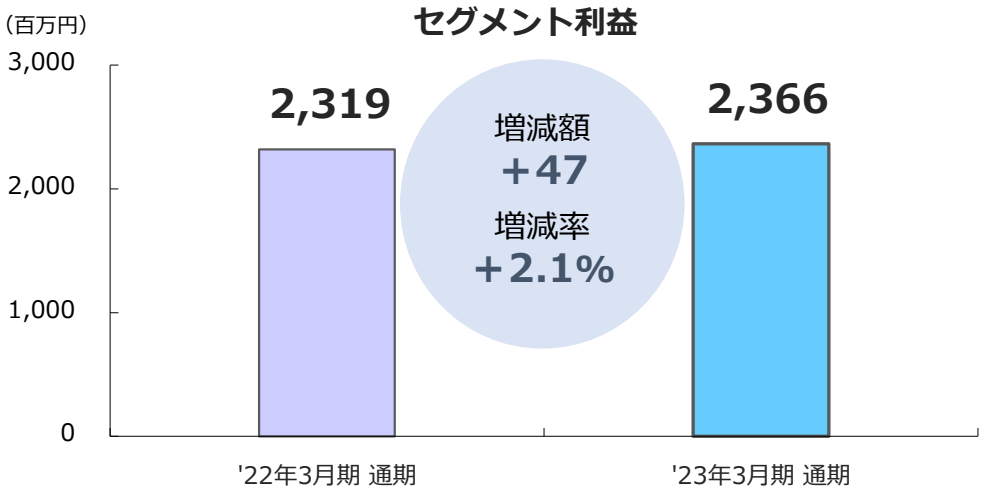
セキュリティ診断サービス
主力のWebアプリケーション診断サービスやプラットフォーム診断サービスが好調に推移

セキュリティ運用監視サービス
特定企業向けに高度な対策を行う個別監視サービスや内部不正監視サービスなどが伸長

セキュリティ製品販売
サービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策向けクラウド対応製品などが拡大したものの、前期に計上した大型案件を上回るまでの伸長には至らず微減

セキュリティ保守サービス
クラウド対応製品の拡大に伴い既存案件が減少





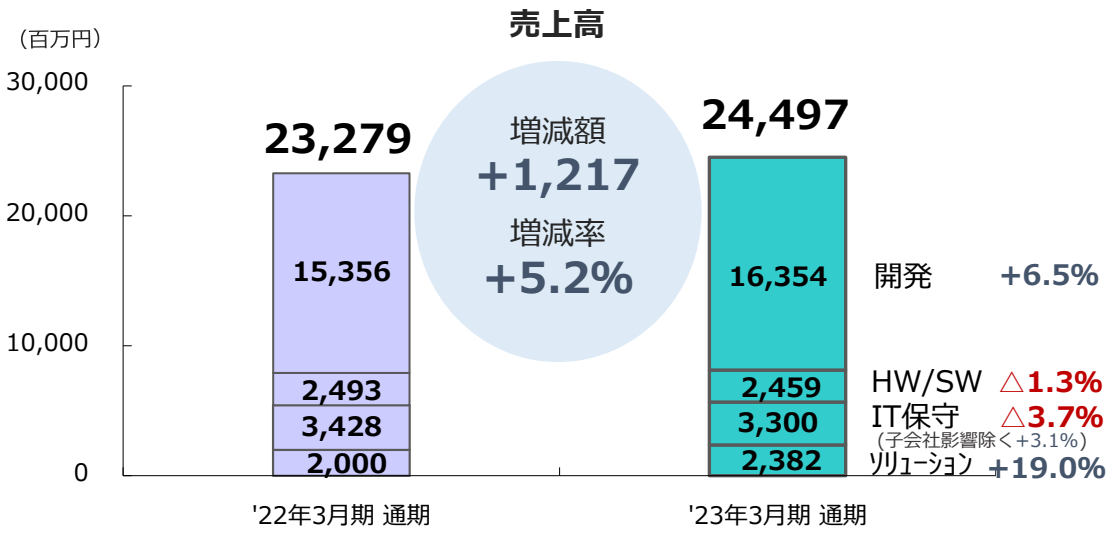
開発サービスやソリューションサービスが伸長し増収・増益

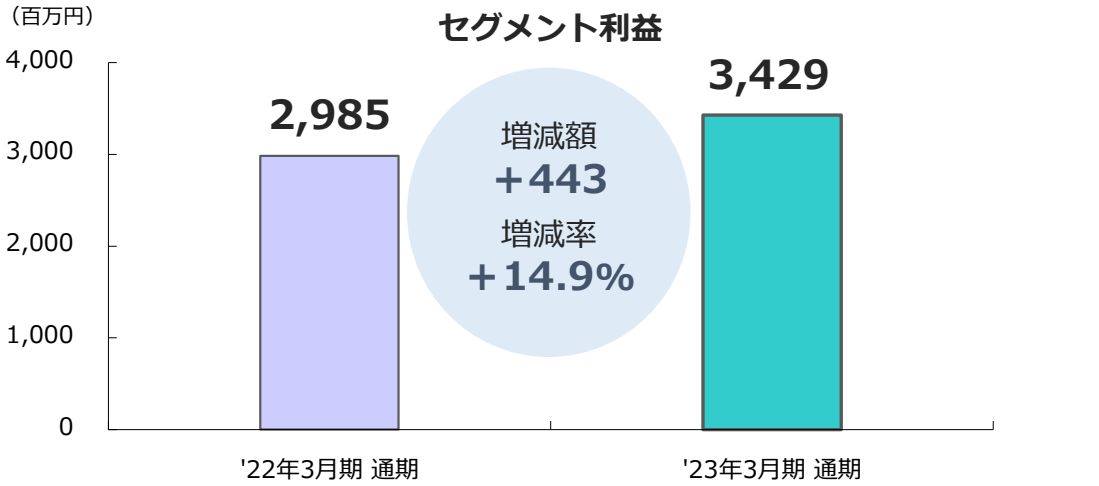
開発サービス
前期にあった大型案件終息などの影響もなく、大手銀行やクレジットカードなど金融業向け案件に加え、サービス業向けなどの案件が大幅に伸長

HW／SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売
クラウドサービスの拡大等で需要が縮小したことで更新案件等が減少

ＩＴ保守サービス
更新案件等は堅調に推移したものの、子会社であったアイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の事業譲渡に伴う売上減影響で減少

ソリューションサービス
サイバーセキュリティ対策にも寄与するソリューション製品関連の販売が伸長





連結貸借対照表ハイライト（前期末比）

持続的な成長投資を可能とする安定した財務基盤を維持

（百万円）

科目	‘22年3月期末	‘23年3月期末	前期末比増減
資産合計	**25,306**	**22,572**	**△2,734**
流動資産	17,873	15,931	△1,941
固定資産	7,433	6,640	△792
負債合計	**9,537**	**7,752**	**△1,785**
流動負債	7,957	7,410	△547
固定負債	1,579	341	△1,237
純資産合計	**15,769**	**14,820**	**△949**
現預金	9,785	6,144	△3,640
有利子負債	2,746	1,460	△1,285
自己資本比率	**62.3%**	**65.7%**	**+3.3p**

増減ポイント

資産

【流動資産】
- 現金及び預金の減少 △3,640
- 売掛金の増加 +879

【固定資産】
- ソフトウエア仮勘定の減少 △1,078
- 投資有価証券の増加 +679

負債

【固定負債】
- 長期借入金の減少 △1,336

純資産

【純資産】
- 利益剰余金の減少 △913

連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト

利益縮小・運転資本増加などにより営業キャッシュ・フローが大きく減少、資本業務提携に基づく出資などセキュリティ事業基盤拡大のための投資は継続

（百万円）

科目	‘22年3月期 通期実績	‘23年3月期 通期実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	**2,956**	**136**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△105**	**△1,634**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**562**	**△2,147**
フリーキャッシュ・フロー	**2,850**	**△1,497**
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,418	△3,640
現金及び現金同等物期首残高	6,367	9,785
現金及び現金同等物期末残高	**9,785**	**6,144**

発生ポイント

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失	△142
減価償却費	918
のれん償却額	72
システム開発に伴う損失（主にソフトウエア仮勘定等の減損損失）	1,854
売上債権の増加額	△878
棚卸資産の増加額	△343
その他の流動資産の増加額	△339
法人税等の支払額	△531

投資キャッシュ・フロー

ソフトウェアの取得による支出	△602
投資有価証券の取得による支出	△791

財務キャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出	△1,332
配当金の支払額	△764

連結決算ハイライト（前回予想比）

売上高、利益とも前回予想を上回って着地

（百万円）

科目	‘23年3月期 前回予想(23/2/13)	'23年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
売上高	**43,000**	**44,018**	**+1,018**	**+2.4**
営業利益	**1,600**	**1,775**	**+175**	**+10.9**
営業利益率%	*3.7*	*4.0*	*+0.3p*	-
経常利益	**1,600**	**1,813**	**+213**	**+13.3**
経常利益率%	*3.7*	*4.1*	*+0.4p*	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**△300**	**△147**	**+152**	**-**

セグメント別業績（前回予想比）

セグメント別においても売上・利益とも予想を上回る
全社共通費用は経費増加等により予想を若干上回る

（百万円）

売上高	‘23年3月期 通期予想(23/2/13)	'23年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	19,000	19,521	+521	+2.7
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	24,000	24,497	+497	+2.1
合計	43,000	44,018	+1,018	+2.4

セグメント利益	‘23年3月期 通期予想(23/2/13)	'23年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,300	2,366	+66	+2.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,300	3,429	+129	+3.9
合計	5,600	5,795	+195	+3.5

全社共通費用	△4,000	△4,020	△20	-

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

2024年３月期 連結業績予想

連結業績予想のポイント

セキュリティ事業

●成長施策を推進

個別監視を軸とした運用監視サービスやAIを活用した診断サービスの拡大、協業による緊急対応サービス体制強化などを推進

●増収増益を予想

市場における競争力の維持・向上を図りながら、運用監視サービスを中心として伸長を見込む

SI事業

●今後の収益改善に向けた取り組みを推進

クラウド型サービス導入・活用を基軸とした付加価値の高いシステム開発案件の拡大とともに、エンジニアのリスキリングを推進

●増収減益を予想

売上は伸長するものの、来期以降の持続成長に向けたリスキリングに伴う稼働率低下により、一時的な収益率低下を見込む

全体として増収増益を予想

一方で、今期最終年度となる中期経営計画の目標値に対しては未達予想

連結業績予想（前期比）

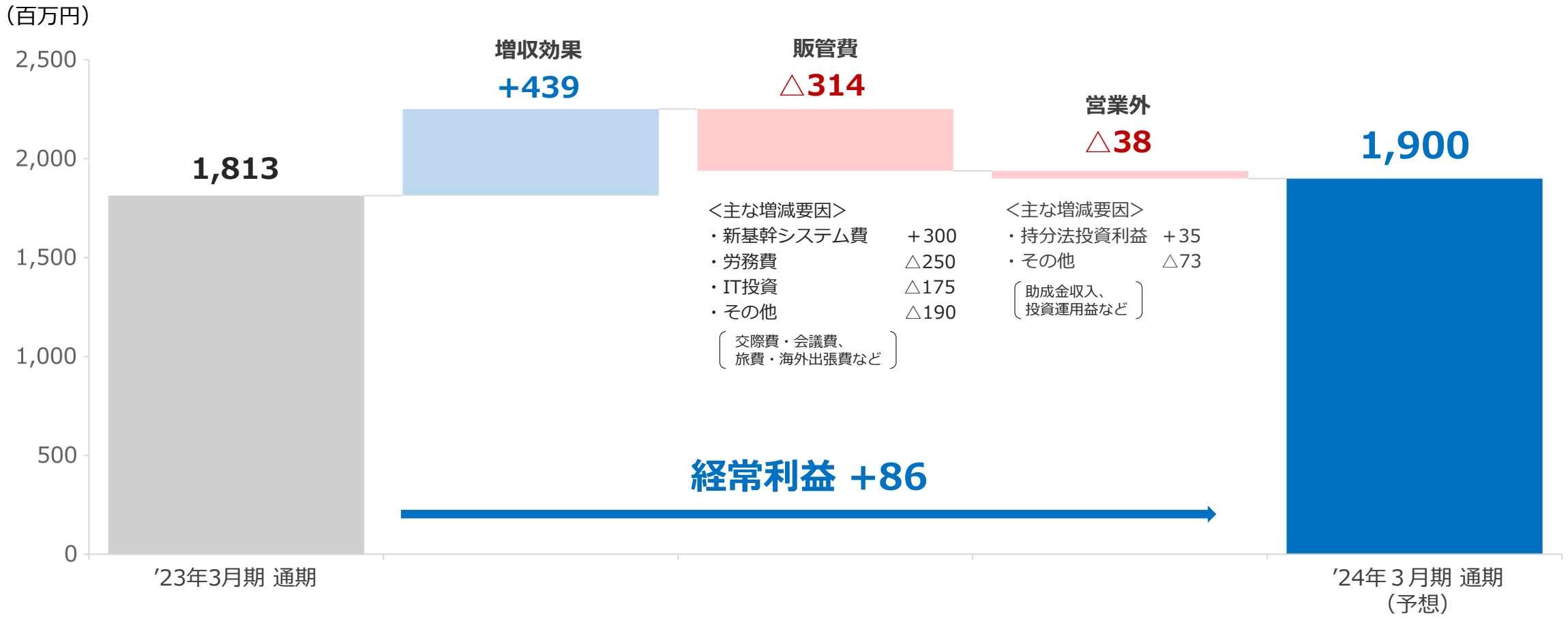
売上高、利益とも増収増益を予想

（百万円）

科目	‘23年3月期 通期実績	‘24年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	**44,018**	**46,500**	**+2,481**	**+5.6**
営業利益	**1,775**	**1,900**	**+124**	**+7.0**
営業利益率%	*4.0*	*4.1*	*+0.1p*	-
経常利益	**1,813**	**1,900**	**+86**	**+4.8**
経常利益率%	*4.1*	*4.1*	*△0.0p*	-
親会社株主に帰属する当期純利益	**△147**	**1,250**	**+1,397**	**-**
自己資本当期純利益率(ROE)%	**△1.0**	**8.3**	*+9.3p*	**-**

経常利益 増減要因分析（前期比）

処遇改善を含めた労務費増、コロナから通常活動に伴う経費増などを見込むも増収効果等により経常増益を予想



セグメント別業績予想（前期比）

セキュリティ事業は増収増益、SI事業は増収減益を予想
全社共通費用は減少を予想

（百万円）

売上高	‘23年3月期 通期実績	‘24年3月期 通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	19,521	21,270	+1,748	+9.0
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	24,497	25,230	+732	+3.0
合計	44,018	46,500	+2,481	+5.6

セグメント利益	‘23年3月期 通期実績	‘24年3月期 通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,366	2,520	+153	+6.5
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,429	3,360	△69	△2.0
合計	5,795	5,880	+84	+1.5

全社共通費用	△4,020	△3,980	+40	-

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

（ご参考）サブセグメント別業績予想（前期比）

（百万円）

売上高	‘23年3月期	‘24年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス（ＳＳＳ）事業	**19,521**	**21,270**	**+1,748**	**+9.0**
セキュリティコンサルティングサービス	**3,956**	**4,180**	**+223**	**+5.6**
セキュリティ診断サービス	**2,748**	**2,910**	**+161**	**+5.9**
セキュリティ運用監視サービス	**5,951**	**7,110**	**+1,158**	**+19.5**
セキュリティ製品販売	**6,004**	**6,350**	**+345**	**+5.8**
セキュリティ保守サービス	**860**	**720**	**△140**	**△16.4**
システムインテグレーションサービス(ＳＩＳ)事業	**24,497**	**25,230**	**+732**	**+3.0**
開発サービス	**16,354**	**16,860**	**+505**	**+3.1**
ＨＷ／ＳＷ販売	**2,459**	**2,830**	**+370**	**+15.0**
ＩＴ保守サービス	**3,300**	**3,040**	**△260**	**△7.9**
ソリューションサービス	**2,382**	**2,500**	**+117**	**+5.0**
合計	**44,018**	**46,500**	**+2,481**	**+5.6**

（注） 2024年３月期において、以下のとおり一部サービスでサブセグメントの組み替えをしています。
・マネージドEDR（エンドポイント向け監視）サービス ： コンサルティングサービス（緊急対応） → 運用監視サービス
・予防接種（標的型メール訓練）サービス ： 診断サービス → コンサルティングサービス（教育・訓練）

セキュリティ事業 主要施策

個別監視を軸とした運用監視サービスの拡大

- **特定顧客向けに高度な対策を行う個別監視サービスの前期受注案件のビジネス推進と更なる受注拡大**
  （デジタル庁ほか大手小売業向け案件などの導入推進）
- **エンドポイント向け監視サービスの更なるビジネス拡大（JSOCに組み入れ体制強化）**
- **企業のIT環境を包括するXDR、SOAR※など新規サービス開発の推進**
  ※XDR（Extended Detection and Response）、SOAR（Security Orchestration, Automation and Response）

診断サービスの更なるビジネス拡大

- **「Diaforce※」管理プラットフォームを活用したWebアプリケーション診断などの拡大**
  ※AIによる自動ツール診断と診断員の手動診断を組み合わせたサービスブランド
- **ペネトレーションテストにおける前期の大型受注案件の着実な推進**

緊急対応サービスの事業体制強化の推進

- **イスラエルSygnia社との協業による大規模・複雑化するインシデントへの対応力強化**

SI事業 主要施策

クラウド型サービス導入・活用支援ビジネスの拡大

・EC（Salesforce）、ID管理（Okta）などのシステム開発案件を積極的展開

高度な専門性を持つ先端IT人材へのリスキリングの推進

・技術者単価の押し上げ、先端人材の採用拡充を推進

物販・ライセンス販売の拡大

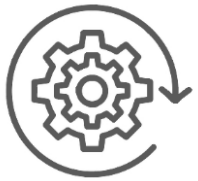
・先進的なIT製品・クラウドソリューションの取り扱い製品拡充による売上拡大

HashiCorp　okta　box

経営・事業共通 主要施策

ChatGPTなどAIを活用した社内生産性向上と事業開発の検証

・社内全般の業務効率化およびセキュリティ事業を軸としてサービス開発などの検証を推進



社内新基幹システムの再構築の推進

・スピーディに新テクノロジーを活用する新基幹システムの企画・設計の推進

新たな働き方に対応したオフィス戦略の推進

・テレワークを軸とした勤務体系による平河町・東陽町オフィス拠点戦略の推進

中期経営計画目標との差異

中期経営計画の業績目標値から大きく下回る予想
ROEも目標水準を下回る予想

科目	‘24年3月期 中期経営計画目標	‘24年3月期 通期予想	差異 増減額
売上高	550億円 ｾｷｭﾘﾃｨ事業 255億円 SI事業 295億円	465億円 ｾｷｭﾘﾃｨ事業 212億円 SI事業 252億円	△85億円 達成率84.5%
営業利益	30億円	19億円	△11億円 達成率63.3%
ROE	10%以上	8.3%	△1.7p

差異の主な要因

- クラウド領域での事業機会の創出や拡大の遅れ
- M&Aなど成長投資の機会創出が途上
- 生産性改善による収益力向上が不十分
- 社内基幹システム開発延期・中止等による経営・事業のDX化遅れ

中期経営計画の進捗状況

	成長戦略３つの方針	主な成果
1 耐久力	基幹事業の生産性向上、コスト構造改革 単発ビジネスから継続ビジネス「リカーリング」へ LACブランド認知を活用し事業を拡大する	●セキュリティ対策の認知度をもとに、高付加価値サービスや営業施策をもとにコア顧客から安定してリカーリング案件を獲得
2 適応力	成長分野のクラウドソリューションの強化 事業ノウハウのデジタル化と顧客サービス高度化 独自サービス・ソリューションへの強化	●セキュリティソリューション商材のラインアップ拡充や合弁会社によるサービスなどクラウド関連のビジネスを整備 ●AIを活用した診断サービスのデジタル化の推進、金融犯罪対策の独自ソリューションを立ち上げ ●SIサービスにおけるクラウドソリューションシフトの推進
3 デジ力（りょく）	経営・事業管理の徹底したデジタル化と業務プロセス変革 独自事業基盤システムを整備し、商機に柔軟に対応 デジタルマーケ、デジタル営業による新規顧客開拓	●テレワークでの勤務形態を踏まえたクラウドベースによる社内IT環境×ゼロトラストの推進 ●Office365を軸とした社員の生産性向上への取り組み

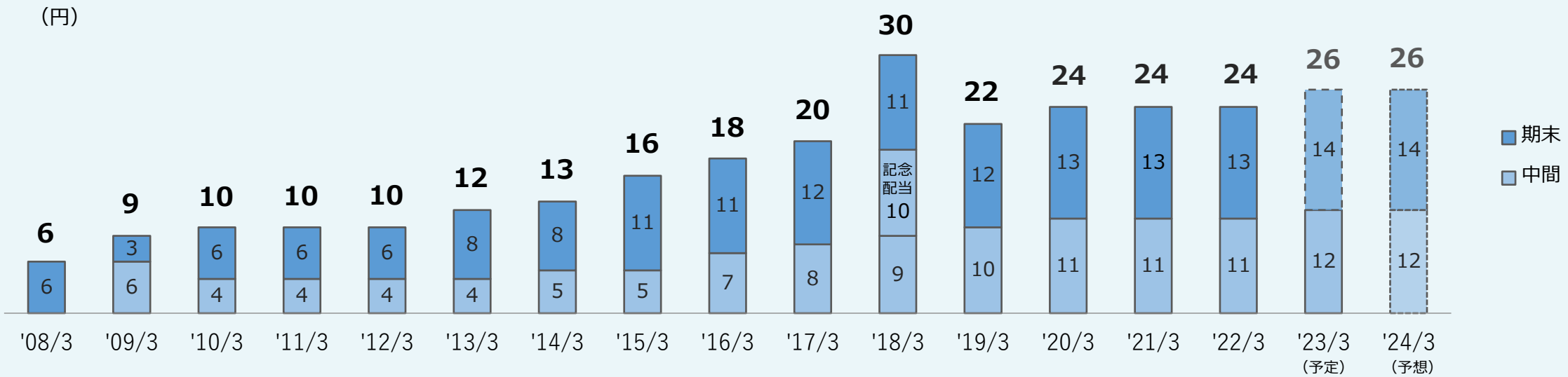
株主還元

年間配当は26円の予定、今期も26円の予想

配当方針

●長期的かつ安定的に保有いただくことを目的に、継続的に安定した配当水準を維持
●基本指標はDOE（株主資本配当率）５％

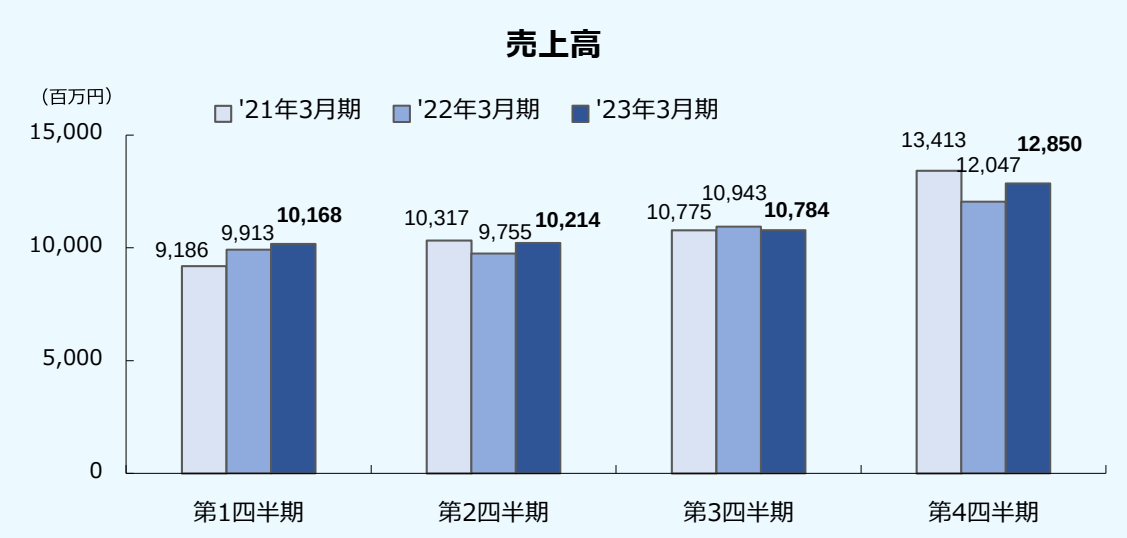
１株当たり配当金

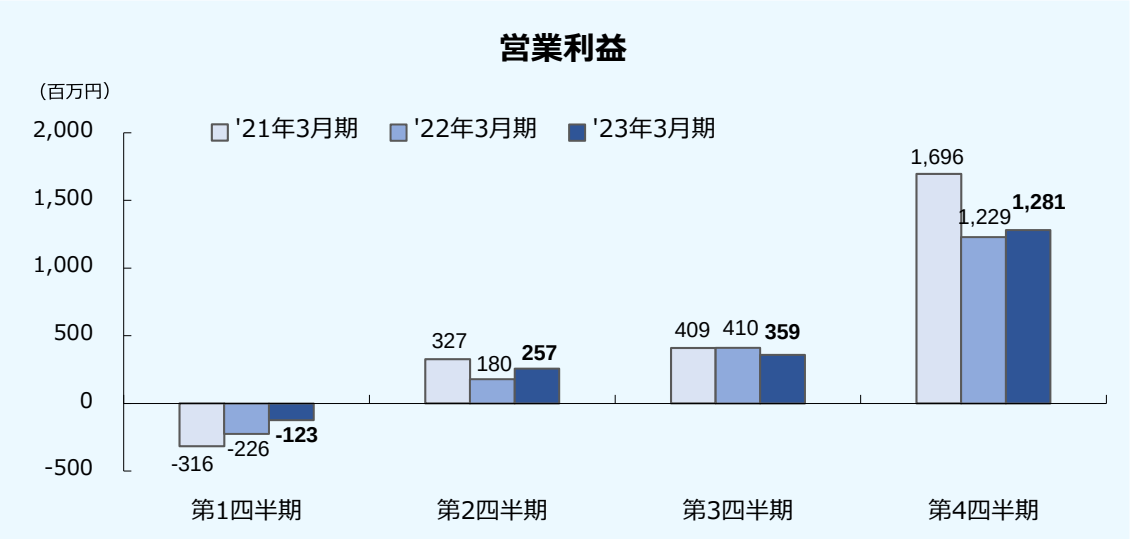


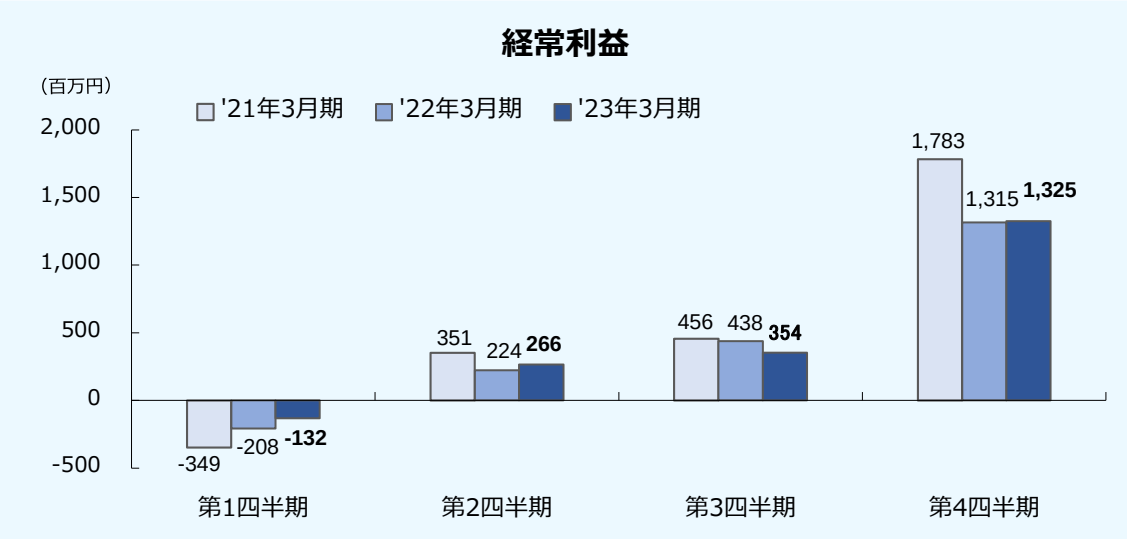
	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3（予定）	'24/3（予想）
DOE	2.8%	4.2%	5.1%	5.2%	4.8%	5.2%	5.0%	5.5%	5.5%	5.5%	5.1%（記念配当を除く）	5.2%	5.3%	5.2%	4.9%	5.1%	5.2%
配当性向	18.2%	98.7%	-	38.9%	45.0%	34.3%	32.7%	32.3%	31.6%	34.0%	40.5%（記念配当を除く）	36.3%	56.2%	201.3%	44.8%	-	62.8%

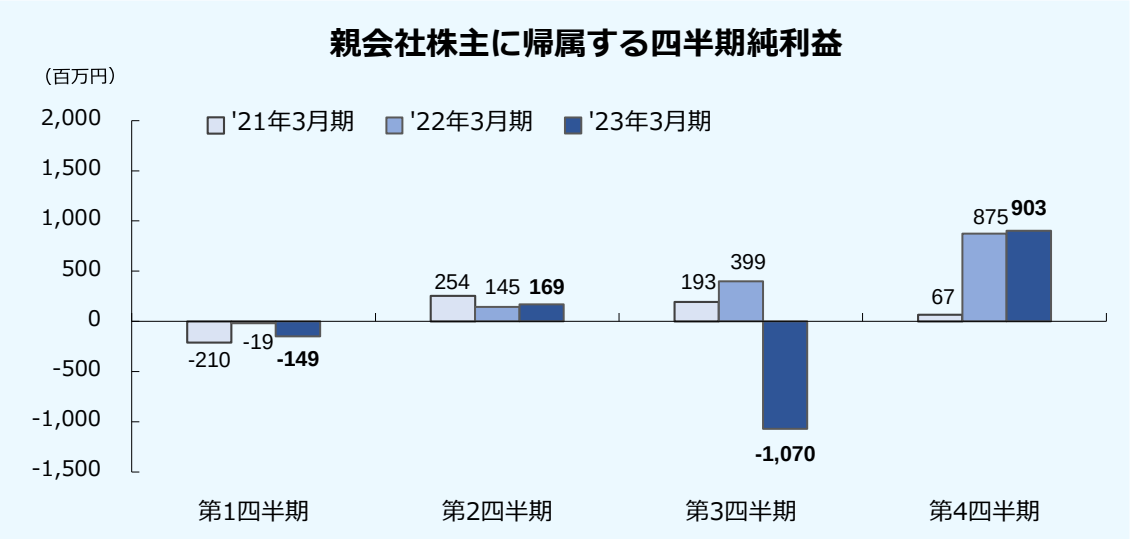
補足資料

連結業績推移（四半期）









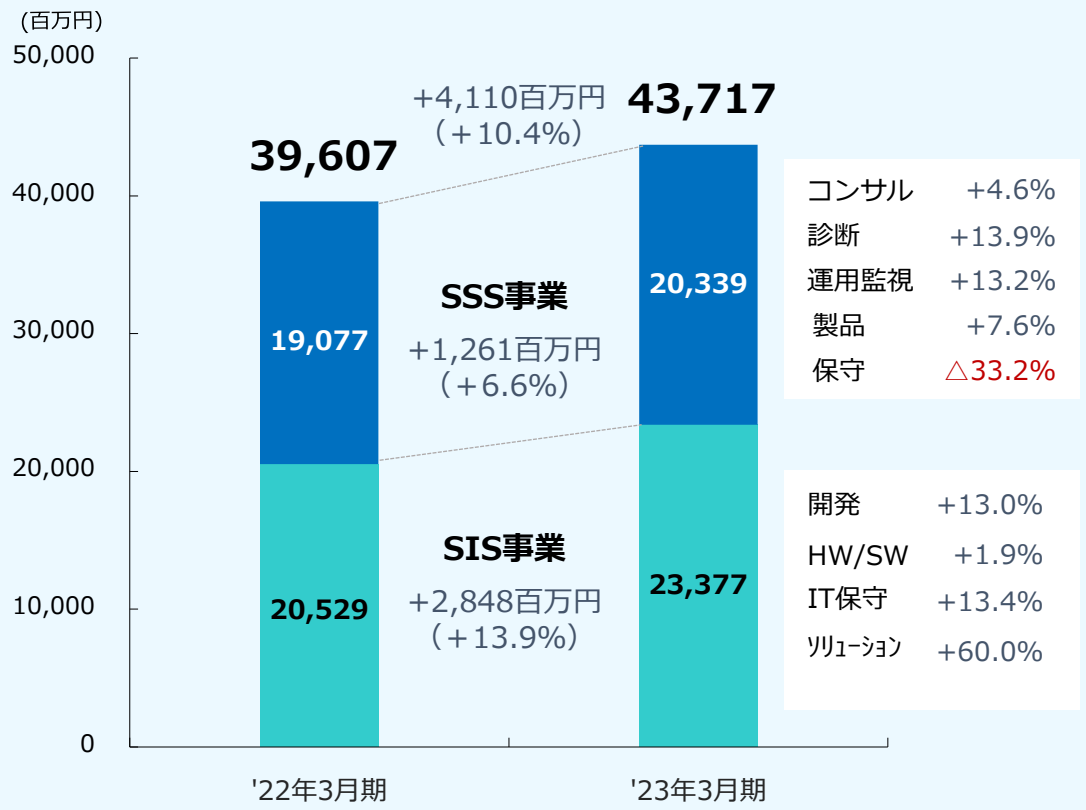
連結業績・セグメント別推移（四半期）

（百万円）

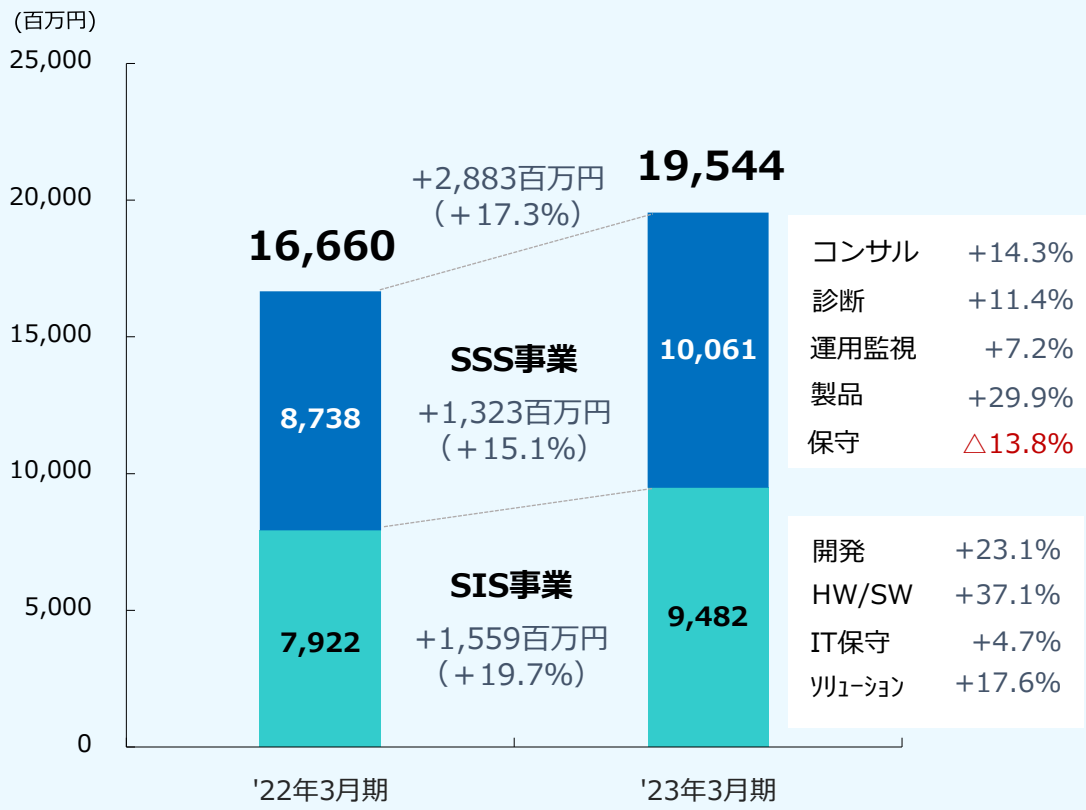
連結業績		’21年3月期				’22年3月期				’23年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		**9,186**	**10,317**	**10,775**	**13,413**	**9,913**	**9,755**	**10,943**	**12,047**	**10,168**	**10,214**	**10,784**	**12,850**
売上原価		**7,571**	**8,117**	**8,565**	**9,860**	**8,094**	**7,670**	**8,581**	**8,858**	**8,292**	**7,998**	**8,497**	**9,619**
売上原価率（%）		82.4	78.7	79.5	73.5	81.7	78.6	78.4	73.5	81.6	78.3	78.8	74.9
販売費及び一般管理費		**1,931**	**1,873**	**1,800**	**1,855**	**2,045**	**1,904**	**1,951**	**1,959**	**1,999**	**1,958**	**1,927**	**1,949**
売上高販管費比率（%）		21.0	18.2	16.7	13.8	20.6	19.5	17.8	16.3	19.7	19.2	17.9	15.2
営業利益		**△316**	**327**	**409**	**1,696**	**△226**	**180**	**410**	**1,229**	**△123**	**257**	**359**	**1,281**
売上高営業利益率（%）		△3.4	3.2	3.8	12.7	△2.3	1.9	3.8	10.2	△1.2	2.5	3.3	10.0
親会社株主に帰属する四半期純利益		**△210**	**254**	**193**	**67**	**△19**	**145**	**399**	**875**	**△149**	**169**	**△1,070**	**903**
売上高四半期純利益率（%）		△2.3	2.5	1.8	0.5	△0.2	1.5	3.6	7.3	△1.5	1.7	△9.9	7.0
セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）													
売上高	**セキュリティコンサルティングサービス**	**592**	**777**	**825**	**1,315**	**740**	**905**	**881**	**1,209**	**766**	**959**	**980**	**1,250**
	セキュリティ診断サービス	**310**	**591**	**512**	**1,236**	**411**	**504**	**464**	**1,072**	**407**	**583**	**629**	**1,128**
	セキュリティ運用監視サービス	**1,352**	**1,407**	**1,409**	**1,823**	**1,405**	**1,385**	**1,507**	**1,524**	**1,399**	**1,452**	**1,444**	**1,655**
	セキュリティ製品販売	**1,120**	**960**	**1,601**	**1,380**	**1,555**	**1,261**	**1,570**	**1,661**	**1,761**	**1,361**	**1,303**	**1,577**
	セキュリティ保守サービス	**328**	**225**	**374**	**511**	**311**	**194**	**430**	**381**	**164**	**143**	**280**	**271**
	合　計	**3,704**	**3,963**	**4,724**	**6,267**	**4,425**	**4,251**	**4,854**	**5,849**	**4,498**	**4,500**	**4,638**	**5,884**
セグメント利益		**55**	**436**	**510**	**1,538**	**208**	**383**	**542**	**1,185**	**201**	**523**	**538**	**1,102**
システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）													
売上高	**開発サービス**	**3,318**	**3,855**	**3,791**	**4,351**	**3,343**	**3,821**	**4,007**	**4,184**	**3,731**	**4,021**	**4,158**	**4,443**
	HW／SW販売	**451**	**950**	**526**	**713**	**440**	**551**	**799**	**701**	**415**	**496**	**603**	**944**
	ＩＴ保守サービス	**1,335**	**1,149**	**1,357**	**975**	**1,171**	**711**	**903**	**641**	**961**	**733**	**909**	**696**
	ソリューションサービス	**376**	**399**	**376**	**1,105**	**532**	**419**	**378**	**671**	**560**	**463**	**475**	**882**
	合　計	**5,482**	**6,354**	**6,051**	**7,145**	**5,488**	**5,503**	**6,089**	**6,198**	**5,669**	**5,714**	**6,146**	**6,966**
セグメント利益		**587**	**808**	**736**	**1,039**	**507**	**694**	**778**	**1,005**	**731**	**769**	**798**	**1,129**
全社共通費用		**△959**	**△918**	**△837**	**△881**	**△942**	**△896**	**△909**	**△960**	**△1,057**	**△1,035**	**△977**	**△950**

セグメント別受注高・受注残高（前期比）

受注高

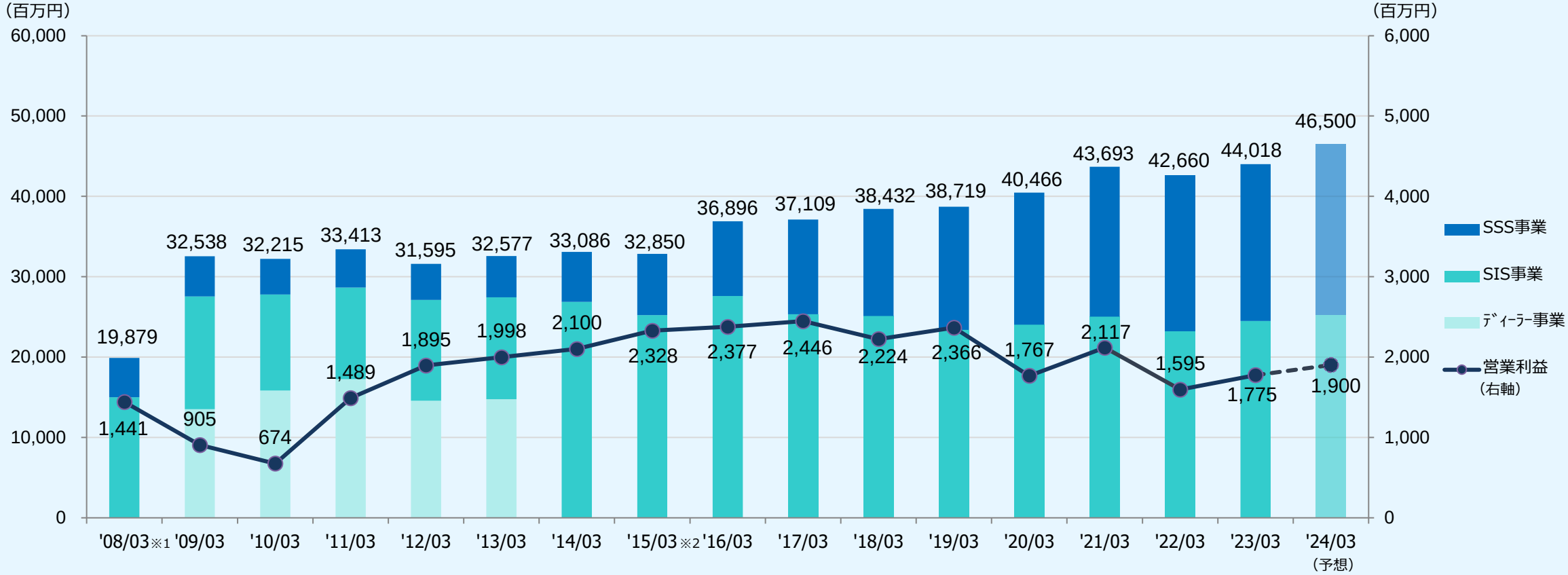


期末受注残高



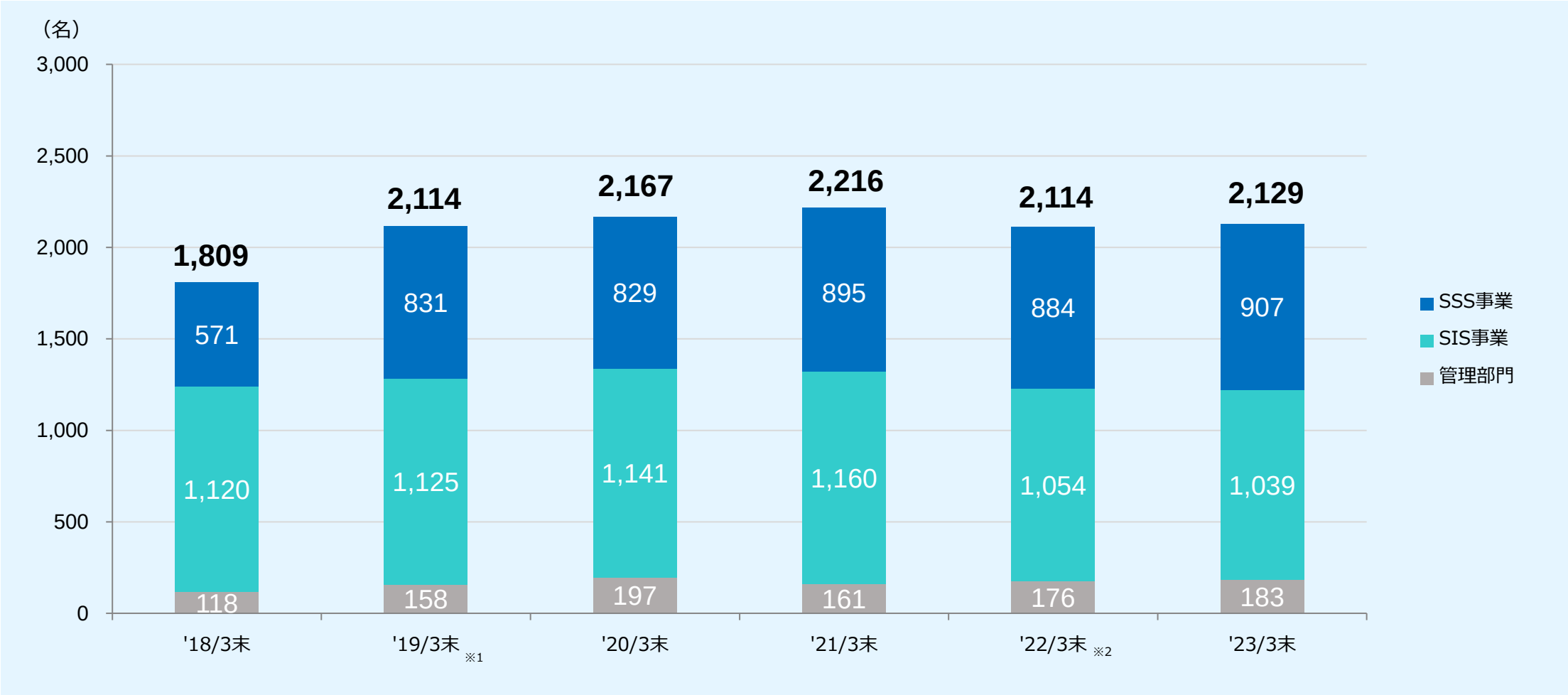
（注）受注高、受注残高とも単体の数値です。

連結業績推移（セグメント別）



（注）1. 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。
2. 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

連結従業員数の推移



（注）1. ‘19年3月期以降のSSS事業における従業員数は、2018年4月2日に子会社化した㈱アジアンリンク（現 ㈱ラックサイバーリンク）の従業員が含まれています。
2. ‘22年３月期末の従業員数は、SSS事業において、第１四半期に㈱アジアンリザレクションが㈱ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響（21年3月末比較：30名）があります。また、SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション㈱の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数(21年６月末時点：97名)が除外されています。

会社紹介

会社概要

（2023年3月31日時点）

会 社 名	**株式会社ラック**
住　　所	**東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー**
設　　立	**2007年10月1日**（前身となる旧ラックは1986年に設立）
代 表 者	**代表取締役社長　西本 逸郎**
資 本 金	**26億4,807万5,000円**
業　　績	**売上高 440億円　営業利益 17億円**（2023年３月期）
従業員数	**連結 2,129名　単体 1,657名**
拠　　点	**東陽町オフィス**（東京都）　**ラックテクノセンター秋葉原**（東京都）　**名古屋オフィス**（愛知県） **福岡オフィス**（福岡県）　**ラックテクノセンター北九州**（福岡県）　**シンガポール支店**（シンガポール）
関係会社	**セキュリティ** **株式会社ラックサイバーリンク**（東京都） **KDDIデジタルセキュリティ株式会社**※（東京都） **ニューリジェンセキュリティ株式会社**※（東京都） ※持分法適用関連会社 **SIサービス** **株式会社ソフトウェアサービス**（東京都） **株式会社アクシス**（福島県）
上場市場	**東京証券取引所 スタンダード市場**　　**証券コード 3857**

他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと
独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS
セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

サブセグセグメント
- セキュリティコンサルティングサービス
- セキュリティ診断サービス
- セキュリティ運用監視サービス
- セキュリティ製品販売
- セキュリティ保守サービス

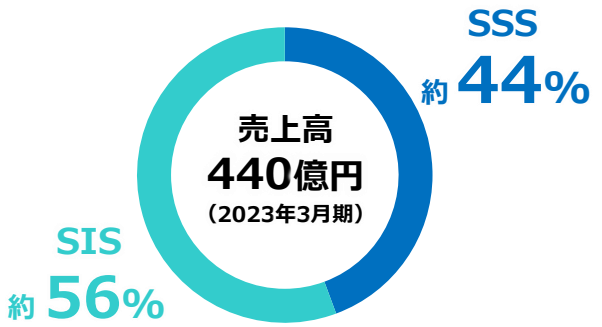
ITによる豊かな社会への貢献

SIS
システムインテグレーションサービス

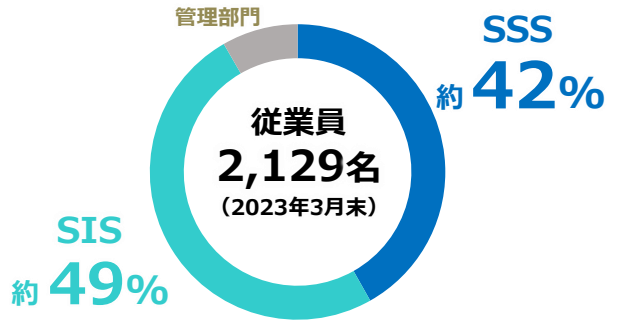
大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。

サブセグセグメント
- 開発サービス
- HW／SW販売
- ＩＴ保守サービス
- ソリューションサービス

売上高構成比



人員構成比



ラックの強み

セキュリティの先駆者として構築してきた総合的なセキュリティサービス

当社は1995年に、診断サービスから国内初のサイバーセキュリティ事業を開始しました。

まだサイバー攻撃への対処法が定まっていない時代、お客様の要望に応えてサービスモデルを構築し、総合的かつ先端のセキュリティサービスを提供しています。

高度な技術・ノウハウを有したセキュリティエンジニアによる専門サービス

当社の特徴は、高度な技術とノウハウを持つ「セキュリティエンジニア」によるサービスを提供していることです。

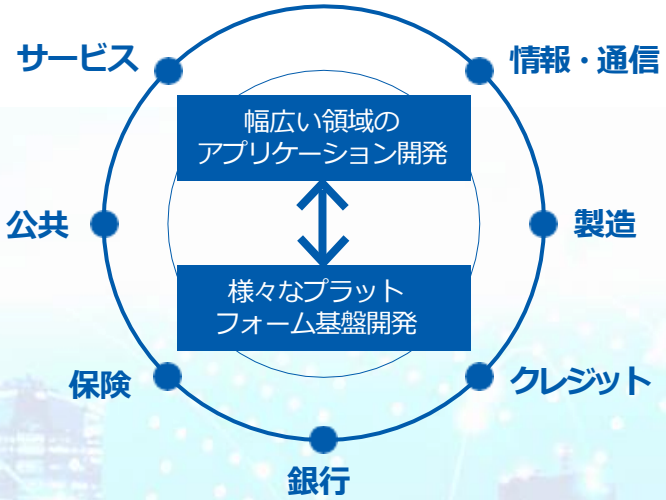
現場で独自に得られる最新の脅威情報をセキュリティ対策の高度な知見（インテリジェンス）として活用しています。

ラックの強み

安定した収益を生み出す システム開発

独立系ITベンダーとして、 30年以上にわたり基盤システムやITインフラを開発してきました。

メインフレームからスマートフォンアプリの開発まで、幅広いプラットフォームの基盤構築とアプリケーションの設計構築に精通しています。



常に進化し続け成長していく ユニークな組織や人材

専門的な技術や情報、知見を持って、お客様の課題を解決する組織やセンター群を擁しています。

多様な分野の人材育成とあわせ、専門スキルを評価する人事制度などを充実させ、今後の成長と発展を担う人材の育成・確保に努めています。

- **JSOC**
  国内最大規模のセキュリティ監視センター
- **サイバー救急センター**
  サイバー被害の救急対応を24時間365日実施
- **ラックセキュリティアカデミー**
  専門講師による実践的情報セキュリティ教育
- **サイバー・グリッド・ジャパン**
  セキュリティ等の国防・ICT利用啓発等の研究
- **ラックテクノセンター秋葉原**
  自動車・IoT機器など種々のシステムに対する侵入テストを行う技術拠点
- **金融犯罪対策センター**
  金融犯罪被害の相談と対策支援、防御技術の開発

セキュリティ インシデントレスポンス分野で定評のあるSygnia社と業務提携

新 2023年2月

Sygnia Consulting Ltd.（Sygnia社）と業務提携し、サイバー救急センターの事故対応能力や、事故からの復旧スピードの向上を実現

インシデントレスポンス分野において、Sygnia社と業務提携を締結。今後はインシデント対応のすべての工程を自社内で迅速に実行することを目指し、高度な技術を有するSygnia社と相互に技術提携していく予定。

業務提携内容

インシデント対応ツールとオペレーションの統合的な技術開発

Sygnia社が独自開発したクラウドを含む多様な環境に対応可能なインシデント対応支援ツールを、ラックの事故対応業務に用いて、得られるフィードバックを両社で検証。

海外サプライチェーン企業のインシデント対応における協業

Sygnia社の北米、ヨーロッパ、東南アジアなど主要な地域拠点との連携により、国内企業の海外サプライチェーン組織で発生したサイバーセキュリティ事故対応における協業体制を構築。

新たな製品ソリューション、セキュリティサービスの共同開発

新たなセキュリティ対策ソリューションの共同開発、インシデントレスポンスにおける事前契約型リテーナーサービスなど、これまで国内にはなかった新たな事業の創出を目指す。

（注）事前契約型リテーナーサービス：事前契約を結び、インシデントレスポンスサービスを優先的に受けられるサービス。

セキュリティ Microsoft 365向けに「Microsoft Sentinel活用支援サービス」を提供 新 2023年3月 LAC

Microsoft 365の各ソリューションのログを集約し、インシデント情報などを一元的に管理
インシデント発生時のセキュリティ管理者への運用負担を軽減

セキュリティログ管理・分析ソリューション「Microsoft Sentinel」の活用を支援する「Microsoft Sentinel活用支援サービス」の提供を開始。

複雑なMicrosoft Sentinelの運用を、ラック独自のダッシュボードで運用負担の軽減と初動対応をサポート。

さらに、ラックが定期的に提供するレポートにより、現状把握、トレンド分析、運用改善といったお客様の活動における継続的な支援も可能。

（注）Microsoft Sentinel：Microsoft製品を中心に様々な製品のログを統合管理するソリューション

支援サービスの特徴

ラック独自カスタムダッシュボードを提供

ラック独自のカスタムダッシュボードにより、セキュリティリスクを可視化し、現状を　効率良く把握

定期レポートで運用を継続的に改善

定期的に提供するレポートにより、現状把握、トレンド分析、運用改善といったお客様の活動をラックが継続的にサポート

Microsoft Sentinelの段階的な活用支援

スモールスタートで必要な箇所のサポートからはじめ、サービスの拡充と共に高度な活用を支援

「AIクラウドセキュリティ運用支援サービス for AWS」に新たな機能を拡充 新 2023年3月

サイバー攻撃の被害発生要因となるクラウド環境の設定不備の発見や脆弱性管理に対応するため、ネットワークファイアウォール、クラウド設定検査支援、および脆弱性管理支援機能を追加

アマゾン ウェブ サービス（AWS）へのサイバー侵害に対応する「AIクラウドセキュリティ運用支援サービス for AWS」に、新たな機能を拡充。

検知された設定不備や脆弱性に関して、専門スキルを持たない担当者でも把握しやすい通知アラートを通知することで、インシデント発生時に重要となるサイバー侵害の初動対応へのスピーディな対応が可能。

ラックのセキュリティ監視センターJSOCで培った独自の知見や脅威インテリジェンス、AIによるデータ解析を活用し、情報の収集、分析判断、対応も支援。

機能拡充内容

ネットワークファイアウォール機能

AWSの仮想ネットワーク「VPC（Virtual Private Cloud）」間の通信やアウトバウンド通信を対象にAIを活用した自動分析を提供し、マルウェア通信などをブロック

クラウド設定検査支援機能

AWS Security Hubを中心としたネイティブセキュリティ機能による検知結果と、サービス独自の調査結果を組み合わせて、設定不備の検知および対策を支援

脆弱性管理支援機能

Amazon Inspectorを活用し、Amazon EC2、Amazon ECR上のシステムにおける既知の脆弱性有無を検査し、迅速に発見。対処方法をユーザに通知

※本資料は2023年5月12日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。